

大分トリニータとの農業コラボ始動

佐田地区まちづくり

第149号



スマホでカラー版を見る事が出来ます

宇佐市とサッカーJ2、現在十四勝二敗で二位の大分トリニータは平成二十二年に「宇佐市・大分トリニータ協力協定」を締結しています。

宇佐市と佐田地区まちづくり協議会も地域活性化等の協働協定を締結しており、そんな三者の関係から今回の農業コラボが実現することとなりました。

趣旨は、佐田小学校児童と大分トリニータの選手等と一緒に農業体験することで、子供たちに農業の楽しさや喜びを感じてもらおうとともに、プロサッカーチーム大分トリニータを身近に感じること、地域への愛着を深めること、地域活性化を図ることです。

また、この企画には昨年までトリニータで活躍し、現在C.R.O（クラブ・リレーションズ・オフィサー）に就任した、レイチェルこと松本怜選手（ジェイリースFC参加）が大いに携わっており、このコラボには自然と沢山の注目を浴びています。



レイチェルこと松本怜選手。このコラボには自然と沢山の注目を浴びています。



二ータン、うさからくんもみんな揃ってハイチーズ
ができ、田植え直前までの準備も全部していただきました。
そうして迎えた企画第一弾！レイチェルと一緒に田植え体験！！
気合十分。快晴快晴の日々、当日六月八日だけに何故か雨の天気予報、まあ小降り程度だろうと高を括っていたら、あっちゃー、土砂降りではないか。
気合も計画もズタズタ。けれど、気を取り直し、田植えを交流会に変えての体験会となりました。
当日は、事前に佐田小学校多目的ホールで、宇佐市と大分トリニータの連携協力協定の締結式が行われ、是永市長、多々羅副議長、トリニータの小澤社長、松本C.R.Oが臨席されました。
その後、同所で開会式を行い、榎本校長先生の話しあいのあと、出席して下さった市長と副議長に予定にはなかった挨拶を振ったところ、突然にもかかわらず快く応じてくださいました。
そして佐藤教頭先生による田植え講座はM-1を彷彿させるダイナミックなもので、未体験の私にもよく理解できました。
記念撮影の前に校長先生からのサプライズ発表！！
二ータンとうさからくんの登場に児童たちは熱狂。興奮冷めやらぬ中、何とか撮影も終了しました。
場所を体育館に移して、レイチェルとの交流、二ータンも駆けつけてくれ、全校でフォークダンスをし、質問タイムでは子供たちの質問に丁寧に答えてくれました。
交流会の後は、再び多目的ホールに戻り、閉会式。締結式後からのオンラインでの仕事を終えた小澤社長から挨拶をいただき、レイチェルの講評、児童の感想と続きました。
最後に女性部の方々が朝から作ってくれた「こびり」をみんなにいただきました。農業には「こびり」は欠かせないですよ。

